



松浦市長の

スマイルボタン



湖南省では、市長・議長・教育長が女性です。市長はまちの方向を示す役目。議長は議会で多様な意見がきちんと交わされるよう進行を整える役目。教育長は学びを支え、未来を育てる役目。共通して「重い責任」を背負っています。

「3人揃って女性って珍しいですね」と言われます。そうかもしれません。ただ、特別に意図したわけではなく、選挙や手続きを経て今の立場にあります。性別よりも、どう責任を果たす人か、ということに期待を寄せていただいた結果だと思っています。ですから、次は男性かもしれませんし、また女性かもしれません。

たまたま今は3人とも女性です。「女性登用を！」と声高に言わずとも、この状況が生まれる風土が、湖南省にあるのだと思っています。このことは“時代の風景”かもしれません。誰もが活躍できる社会をめざしてきた湖南省の先輩がたの努力が実りつつあるのではないで

しょうか。この風土を語るうえで、「障がいのある人が地域でいきいきと生活できるための自立支援に関する湖南省条例」条文に「さりげなく応援する」という文言があります。この「さりげなく」こそ、湖南省の風土だと私は考えています。

しかしながら、この状況に甘んじることなく、これからも誰もが活躍できるまちになるよう取組を進めていきます。湖南省のこの体制が女性だけでなく、社会の中で自分らしく活躍したいと願うすべての人への励ましになればうれしく思います。



▲(左から)法山由紀子教育長、松浦加代子市長、細川ゆかり議長